

プラスチック製品を何度でも生まれ変わらせる

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんの身の周りにも、プラスチックでできたものはたくさんありますよね？

ホームセンターの「コーナン」でお馴染みの、コーナン商事では、他社による協力のもとで、ある素晴らしいリサイクルに取り組んでいます。

それは「循環型リサイクル」と呼ばれ、お店や物流センターで商品を運ぶときに使う、

「プラスチック製のコンテナ・パレット」が壊れて使えなくなったら、まずはペレットという粒(つぶ)に加工。

そして、そのペレットを新しいコンテナやパレットへと生まれ変わらせて、また、お店や物流センターで使用します。

このように、プラスチック製品の原材料を再利用することでなんと、年間約25トンものプラスチックの使用量を削減できるんですよ。

使えなくなったものを生まれ変わらせて、また使えなくなったら、また生まれ変わらせる。

地球上に優しいこの「循環型リサイクル」は他にどんなものに取り入れられているのか、ちょっと調べてみてください。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

廃プラスチックの循環型リサイクル



画像参照：廃プラスチックの循環型リサイクル・イメージ図(コーナン公式HPより)

全国でホームセンターの「コーナン」を運営するコーナン商事は、2022年より、店舗や物流センターで使用するプラスチック製のパレットや、折りたたみ式コンテナの「循環型リサイクル」に取り組んでいます。一般的に「リサイクル」とは、使用済みのもの・廃棄されたものを回収して、そこから新たな製品を作ることですが、リサイクルには「以前よりも価値の低いものに生まれ変わることが多い」という難点がありました。



画像参照：パレットへの印字(黄田み部分)
(コーナン公式HPより)

そこでコーナン商事は、一般的なリサイクルではなく「循環型リサイクル」という、「ものの価値を落とさないリサイクルの方式」を取り入れています。この循環型リサイクルでは、破損・劣化したパレット・コンテナを回収し、いったん「ペレット」という粒(つぶ)状のリサイクル材にします。そして、そのペレットから「新たなコンテナやパレット」を作って、店舗や物流センターで再度使用しています。これによって、年間約25トンのプラスチックの使用量の削減を実現することができました。このように「循環型リサイクル」は、使えなくなったものを「まったく同じ価値のものに生まれ変わらせる」という点で一般的なリサイクルよりも優れた方法だと言えます。また「ものを無駄にせず循環させる」という点で、地球環境にとってもやさしい方法であることから、SDGsの達成に向けて、今さまざまな業界で注目を集めています。

キーワード

循環型リサイクル

不要になった製品・素材を回収して再利用・再生し、資源を無駄にしないシステムを「循環型リサイクル」と呼び、「まったく同じ価値のものを作る」ことが特徴のひとつです。

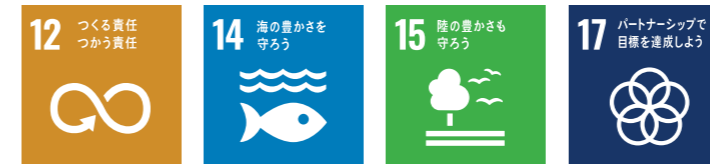
パレット

荷物を運ぶためにのせる台のことで、フォークリフトなどを使って一度に多くの荷物を運べるのが特徴です。

ペレット

プラスチックなどの原料を加工しやすいように、3～5mmほどの粒状に成型したものです。

対象ゴール



みなさんにできること！

「循環型リサイクル」が取り入れられているものには、他になにがあるか調べてみましょう。

おさらい

- リサイクルで作られたものは、元のものよりも価値が下がることが多い。
- 「循環型リサイクル」は、ものの価値を下げずに、「全く同じ価値のもの」へとリサイクルする。
- コーナンでは、年間約25トンのプラスチック使用量削減に貢献している。

メモ



SDGs ラジオ